

平成24年度 稲盛財団研究助成募集要項

公益財団法人 稲盛財団

稲盛財団では、平成24年度研究助成の募集を下記要領で行います。

1. 研究助成の趣旨

当財団の研究助成事業は、「人のため、世のために役立つことをなすことが、人間として最高の行為である」そして、「人類の未来は、科学の発展と人類の精神的深化のバランスがとれて、初めて安定したものになる」という創設者 稲盛和夫の理念に基づき、人類の科学の発展、文明の発展、また精神的な深化・高揚に寄与することを願い、国内の自然科学、人文・社会科学の若手研究者を対象に、独創的で優れた研究活動に対して助成するものです。

2. 研究助成の対象

① 研究分野

- 自然科学系
- 人文・社会科学系

② 平成24年度優先分野

本年度の自然科学系においては「情報科学」、「生命科学(分子生物学・細胞生物学・神経生物学)」分野を優先いたします。なお、優先分野以外の申請も受け付けています。

③ 申請者の資格

下記の要件をすべて満たす方とします。

a. 日本に居住し、当要項を送付した大学・機関に所属していること。

b. 常勤で所属機関に正式に雇用されていること。

有期雇用の場合は、本申請研究期間中その任期が残っている必要があります。

ただし本申請研究期間を有効とする更新が確定している場合には、それを確認できる文書が添付されていれば可とします。

c. 助教相当以上であること。

ポストドクトラルフェロー、ポストドクトラルリサーチャーなど、いわゆるポスドクは不可とします。

d. 主体的に研究を行っていること。

申請する研究については、独自の考えに基づいて研究を遂行できること。プロジェクトの一員として決められた職務への専念義務のないこと。

④ 申請者の年齢

自然科学系では「40歳以下の若手研究者」の応募を優先いたします。

3. 研究助成の概要

① 助成金額

平成24年度の「稲盛財団研究助成」は、新規助成分として1件100万円を50名の方に贈呈いたします。なお、⑦の伯楽制度の適用を受けた方には平成25年度にも100万円を追加贈呈いたします。

② 助成金の使途

真に研究に必要な資金であれば、特に使途についての制限はありません。ただし、申請者が所属する機関の間接経費には充てないでください。

③ 研究期間

平成24年4月より、原則1年ないし2年で一定の成果が期待されるものといたします。
(複数年にわたる計画の場合でも、助成金の贈呈は初年度のみです。ただし伯楽制度適用者を除く)

④ 助成対象者の責務

助成対象者は当財団と覚書を交わし、認められた研究期間末日から1ヶ月以内に研究報告書、会計報告書をご提出いただきます。研究報告書および会計報告書の提出が無い場合は、助成金を返還していただきます。また、学会、学術雑誌、出版、論文その他の方法により研究成果を発表する場合には、「稲盛財団研究助成による」旨を付記し、その発表論文・報告書などを送付していただきます。

⑤ 助成対象者の決定

平成24年3月中旬に決定いたします。なお、結果につきましては申請者本人に郵送にて通知いたします。

⑥ 助成金の贈呈時期

平成24年4月に贈呈いたします。

⑦ 伯楽制度

当財団研究助成において、中国の故事にある「千里馬常有 而伯楽不常有(世に千里

の馬は常に有れども、伯楽は常に有らず)」にちなんだ「伯楽」という制度があります。この制度は、研究助成対象者に選ばれた方の中で、抜きん出て優秀かつ有望な研究を行うと選考委員会が認めた方に対し、2年連続して助成するものです。

4. 選 考

① 選考方法

研究助成選考委員会が、「稲盛財団研究助成申請書」に基づいて審査・選考を行い、理事会において決定いたします。

② 主な選考基準

- 当財団の助成の趣旨と合致し、助成するにふさわしいもの。
- 研究計画の遂行にとって、当財団の助成が真に有意義な研究資金となるもの。
- 研究内容に独創性があり、これにより得られる成果が学術的意義を有すると思われるもの。

5. 応募手続

① 申請書入手方法

申請書は、各大学および機関の代表者宛に本募集要項の別添として所定用紙およびその電子ファイル(CD-ROM)を郵送しております。応募の際には、この所定の用紙をご利用ください。また、個別に申請書の電子ファイル(PDF形式、MS-Word形式)をご希望の方は、「平成24年度研究助成申請書送信希望」の旨をE-mailにて grants@inamori-f.or.jp までご連絡ください。

② 応募方法

必ず当財団所定の申請書用紙をご使用の上、必要事項を記入し、1通を当財団にお送りください。その際、下記の要領でお願いします。

- 申請は1人1件のみ。
- 申請書は左右の余白を必ず2cm以上(研究分野ページを除く)設けて片面・白黒で作成。
- 申請書送付時の封筒に「自然科学系」または「人文・社会科学系」を明記。

③ 推薦者

研究助成の申請には、申請者の所属する研究機関の長の推薦を必要とします(学部長、研究科長、学科長、専攻長、センター長、研究所長も可)。推薦者は申請者が本要項の2.の③の応募資格を有することおよび3.の②の助成金を間接経費に充当しないことを確認の上、ご推薦ください。なお1人の推薦者の方が複数の申請者を推薦されるこ

とは可能です。申請書の推薦者欄には、推薦者の記名（印字、ゴム印も可）・捺印をお願いいたします。

④ 応募締切日

平成23年7月25日(月) 消印有効

6. 個人情報の取り扱いについて

申請書に記載された個人情報は、下記の用途に限り使用いたします。

- 選考及び選考結果の通知
- 助成が決定した場合の、対象者の氏名、所属、肩書き、研究題目の公表、およびその後の各連絡
- 助成対象者の推薦者への、助成金贈呈式の案内状の送付。

7. その他

- ① 選考委員会での審査内容については、いかなるお問い合わせにも応じられません。
- ② 申請書は返却いたしません。
- ③ 申請書類記載内容において、事実と異なることが判明した場合、助成金を返還していただく場合があります。
- ④ 応募・問い合わせ先

〒600-8411

京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620

財団法人 稲盛財団 学術部

Tel: 075-353-7272 Fax: 075-353-7270

E-mail: grants@inamori-f.or.jp

- ⑤ 当財団の事業内容および平成23年度研究助成事業についてはホームページ
<http://www.inamori-f.or.jp/> をご覧ください。

平成24年度 稲盛財団研究助成申請書

平成 23 年 月 日

公益財団法人 稲盛財団
理事長 稲盛和夫 殿

申請者

氏名(ふりがな)

⑩

(西暦 年 月 日生 歳)

所属機関・学部・学科(もしくはそれに準ずる機構名)・肩書(正式名称)

任期

任期の定めあり ☐ (年 月から 年 月まで) 任期の定めなし ☐

所属機関住所 〒

Tel:() — Fax:() —

E-mail:

自宅住所 〒

Tel:() —

E-mail:

下記の通り貴財団の研究助成を申請いたします。

記

研究題目 (50 字以内、題目には全てふりがなをつけてください。)

推薦者

本申請者が貴研究助成の応募資格に合致することを証し、本申請を推薦いたします。

氏名(ふりがな)

⑩

所属機関・職名

所属機関住所 〒

Tel:() — Fax:() —

研究分野(今回応募の研究内容に最も近い分野を一つ選んでください。)

自然科学系(先端技術を含む)

- | | | | | | |
|---------|-----------------------|--------------------------|--------|----------------------|--------------------------|
| 1.数物系科学 | 1.数学・数理科学(情報学を除く) | ☐ | 5.農学 | 1.農学・農業 | ☐ |
| | 2.数理解物理・物性基礎 | ☐ | | 2.農芸化学 | ☐ |
| | 3.物理学(素粒子・原子核) | ☐ | | 3.林学 | ☐ |
| | 4.物理学(物性) | ☐ | | 4.水産学 | ☐ |
| | 5.物理学(その他、生物物理含む) | ☐ | | 5.農業工学 | ☐ |
| | 6.天文学・宇宙物理学 | ☐ | | 6.畜産学・獣医学 | ☐ |
| | 7.地球惑星科学 | ☐ | | 7.境界農学(応用分子細胞生物学) | ☐ |
| | 8.プラズマ科学 | ☐ | | 8.境界農学(環境農学) | ☐ |
| | 9.その他〔 〕 | ☐ | | 9.その他〔 〕 | ☐ |
| 2.化学 | 1.基礎化学 | ☐ | 6.医歯薬学 | 1.薬学 | ☐ |
| | 2.複合化学 | ☐ | | 2.基礎医学(医化学一般) | ☐ |
| | 3.材料化学 | ☐ | | 3.基礎医学(病態医化学) | ☐ |
| | 4.その他〔 〕 | ☐ | | 4.基礎医学(人類遺伝学) | ☐ |
| 3.工学 | 1.工学基礎 | ☐ | | 5.基礎医学(ウイルス学) | ☐ |
| | 2.応用物理学・物性工学 | ☐ | | 6.基礎医学(免疫学) | ☐ |
| | 3.機械工学 | ☐ | | 7.基礎医学(その他) | ☐ |
| | 4.電気電子工学(材料・デバイス) | ☐ | | 8.境界医学(応用薬理学) | ☐ |
| | 5.電気電子工学(通信・制御) | ☐ | | 9.境界医学(その他) | ☐ |
| | 6.土木工学 | ☐ | | 10.社会医学 | ☐ |
| | 7.建築学 | ☐ | | 11.内科系臨床医学 | ☐ |
| | 8.材料工学 | ☐ | | 12.外科系臨床医学 | ☐ |
| | 9.プロセス工学 | ☐ | | 13.歯学 | ☐ |
| | 10.総合工学 | ☐ | | 14.看護学 | ☐ |
| | (航空・資源・エネルギー・リサイクル含む) | | | 15.その他〔 〕 | ☐ |
| | 11. その他〔 〕 | ☐ | 7.総合領域 | 1.情報学(基礎) | ☐ |
| 4.生物学 | 1.基礎生物学(遺伝・ゲノム) | ☐ | | 2.情報学(ソフトウェア) | ☐ |
| | 2.基礎生物学(生態・環境) | ☐ | | 3.情報学(ハードウェア) | ☐ |
| | 3.基礎生物学(動物生理・行動) | ☐ | | 4.情報学(知識システム) | ☐ |
| | 4.基礎生物学(生物多様性・分類) | ☐ | | 5.情報学(情報と社会) | ☐ |
| | 5.基礎生物学(その他) | ☐ | | 6.情報学(その他、生体生命情報学含む) | ☐ |
| | 6.生物科学(分子生物学) | ☐ | | 7.神経科学 | ☐ |
| | 7.生物科学(細胞生物学) | ☐ | | 8.健康・スポーツ科学 | ☐ |
| | 8.生物科学(生物物理学) | ☐ | | 9.生活科学 | ☐ |
| | 9.生物科学(発生生物学) | ☐ | | 10.環境学(環境技術・材料) | ☐ |
| | 10.生物科学(進化生物学) | ☐ | | 11.人間医工学 | ☐ |
| | 11.生物科学(その他、人類学含む) | ☐ | | 12.ゲノム科学 | ☐ |
| | 12.その他〔 〕 | ☐ | | 13.資源保全学 | ☐ |
| | | | | 14.その他〔 〕 | ☐ |

研究分野(今回応募の研究内容に最も近い分野を一つ選んでください。)

人文・社会科学系

- | | | |
|--------|--------------------------------|--------------------------|
| 8.人文学 | 1.文学 | ☐ |
| | 2.史学 | ☐ |
| | 3.哲学・倫理学 | ☐ |
| | 4.科学史・科学哲学 | ☐ |
| | 5.宗教学 | ☐ |
| | 6.美術史・美学 | ☐ |
| | 7.演劇学・映画学・芸能史 | ☐ |
| | 8.音楽学 | ☐ |
| | 9.その他〔 〕 | ☐ |
| | | |
| 9.社会科学 | 1.法学 | ☐ |
| | 2.政治学・国際関係論 | ☐ |
| | 3.経済学・財政学 | ☐ |
| | 4.経営学 | ☐ |
| | 5.社会学 | ☐ |
| | 6.心理学(臨床心理学含む) | ☐ |
| | 7.教育学(教育心理学含む) | ☐ |
| | 8.言語学(言語教育含む) | ☐ |
| | 9.民俗学・文化人類学 | ☐ |
| | 10.考古学 | ☐ |
| | 11.人文地理学 | ☐ |
| | 12.地域研究 | ☐ |
| | 13.応用倫理学(医療倫理含む) | ☐ |
| | 14.その他〔 〕 | ☐ |

研究計画の概要（できるだけ具体的に）

1. 目的

2. 内容

3. 研究期間

平成 24 年 4 月から 平成 年 月まで

申請者の略歴

申請者の主な著書・論文

(共著・共同論文の場合は全員の氏名を明記し、ご自分の氏名には下線を引いてください。)

平成21年度(2009年度)以降受領の、他の助成金・補助金・奨励金があれば、受領予定のものも含め、全て記載してください(分担研究者である場合も含む)

採択年/ 支給団体	代表研究者		研究課題名	金額 (単位:万円)
	氏名	所属		